

政策シート

(政策名) 森林管理を通じた環境対応社会への貢献
(予算費目名) 林業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

FSC森林認証制度の更新・拡大等を通じて、持続可能な森林整備・管理及び天竜材のブランド化を推進する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	108,601	89,938
決算	101,951	
人件費(A)	36,800	70,760
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	138,751	160,698

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
FSC認証林面積	ha	48,000	目標	43,500	44,000
			実績	43,553	
FSC認証材生産量	m ³ /年	143,000	目標	71,000	79,000
			実績	68,911	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	森林・林業啓発事業					12,434	10,334	0.3				
2	森林・林業施設管理事業					21,395	17,195	0.6				
3	森林管理事業	○	○	○		47,705	11,305	5.2				
4	治山事業					47,700	35,800	1.7				
5	森林保護事業					31,464	15,304	2.0	0.6			
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						160,698	89,938	9.8	0.6			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 森林・林業啓発事業

◇事業目的・事業対象

市民の森林・林業に対する理解増進を目的に、市民と森林との交流事業や啓発事業を行う。

◇事業の概要

①森林・林業交流事業

森林・林業に対する市民理解を増進するため、市民を対象にした啓発講座などを行う。

- ・森林環境教育推進事業(出前講座等)
- ・林業専門高校連携事業(森林啓発講座開催等)
- ・「山の日」啓発イベント開催事業

②森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)

市民と森林のふれあいなどを目的とした施設運営や林業活性化を図る団体などに対する経費を負担する(県立森林公園、奥浜名湖自然休養林、天竜流域活性化センター、静岡県山林協会 など)。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	9,475	10,334
	決算	9,414	
	国・県支出		
	市債		
	その他	540	1,100
	一般財源	8,874	9,234
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		2,100	2,100
人工	正規	0.3	0.3
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
森林・林業体験活動への年間参加者数(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	2,300	2,300			
実績値	3,023				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

①森林・林業交流事業
森林・林業に対する市民理解を増進するため、市民を対象にした啓発講座などを行う。
・森林環境教育推進事業(森林散策会等)
・林業専門高校連携事業(森林啓発講座開催等)
・”天竜美林”間伐リレープロジェクト推進事業(間伐材配合製品の普及)

②森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)
市民と森林のふれあいなどを目的とした施設運営や流域内の林業活性化を図るための経費を負担する(県立森林公園、奥浜名湖自然休養林、天竜流域活性化センター、静岡県山林協会 など)。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 改善 小項目 その他 / - 事業費 現状 人工 現状

・平成28年度から国民の祝日に「山の日(8月11日)」が制定されたことに合わせ、市民の森林・林業に対する理解を増進していくためのイベントを開催していく。

・事業の分類

大分類 事業推進 細分類 普及・啓発

事業シート (事業名) 森林・林業施設管理事業

◇事業目的・事業対象

森林での余暇活動の促進、都市と山村との交流の促進、林業従事者等の健康増進などを目的に、森林・林業施設の管理・運営を行う。

◇事業の概要

①指定管理施設の管理事業

林業関係者の福利厚生及び中山間地域の交流人口の増加を目的に以下の施設を維持管理する。

- ・天竜林業体育館

②森林ふれあい施設維持管理事業

市民と森林とのふれあいや市民交流の促進を目的に、以下の9森林交流施設を維持管理する。

- ・舞阪町民の森
- ・三方原防風林、観音山水源の森
- ・湖畔の森、光明山生活環境保全林、上野ふれあいの森、熊平滞在施設、市民の森、野鳥の森(トイレ)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	17,198	17,195
	決算	16,775	
	国・県支出		
	市債		
	その他	67	
	一般財源	16,708	17,195
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		5,600	4,200
人工	正規	0.8	0.6
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
森林体験・交流施設(天竜林業体育館)年間利用人数(人)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	2,550	2,600			
実績値	2,099				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
01 02 06 01 01728000

(担当課)
林業振興課

(責任者)
天野 幸夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

①森林体験・交流施設維持管理事業

林業関係者の福利厚生及び中山間地域の交流人口の増加を目的に以下の施設を維持管理する。

・天竜林業体育館

②森林ふれあい施設維持管理事業

市民と森林とのふれあいや市民交流の促進を目的に、以下の9森林交流施設を維持管理する。

・舞阪町民の森

・三方原防風林、観音山水源の森

・湖畔の森、光明山生活環境保全林、上野ふれあいの森、熊平滞在施設、市民の森、野鳥の森(トイレ)

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 縮小 人工 縮小

・天竜林業体育館は、周辺の4施設との一体での管理により、サービスや利便性の向上を図っていく。

・事業の分類

大分類 維持管理運営

細分類 施設管理運営(その他)

事業シート (事業名) 森林管理事業

◇事業目的・事業対象

FSC森林認証を活用し、市民に持続可能な森林経営・管理の大切さを啓発するとともに、市有林の適切な管理・保全を目的に、市有林の間伐等や森林を活用した地域企業等のCSR活動を推進する。

◇事業の概要

【重点戦略 22】

①森林認証推進事業

- ア 木製学童机・椅子の小学校へのモデル的導入事業
- イ 天竜林材業振興協議会(FM認証部会)に対する負担金(FSC森林認証更新審査料負担金)

②市有林管理事業

- ア 間伐(山伏塚市有林:約4ha)、下草刈(下石切市有林:約0.1ha)
- イ 市有林を活用したCSR活動の推進

③(新規)市有林資源・搬出量調査事業

- ・市有林の経営・管理のため、木材供給可能性及び搬出経費等の調査を実施し、(仮)木材生産計画を樹立する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算		11,305
	決算		
	国・県支出		
	市債		
	その他		5,995
	一般財源		5,310
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)			36,400
人工	正規		5.2
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
FSC森林認証面積(ha)				I-1(1)工	22
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	43,500	44,000	45,000	45,500	48,000
実績値	43,553				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
FSC認証材生産量(m ³ /年)				-	22
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	71,000	79,000	95,000		
実績値	68,911				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年間間伐実施面積(ha)				-	22
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	2,000	2,000	2,000		
実績値	(28年11月頃)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
木材・木製品製造業 製造品出荷額(億円/年)				I-1(1)工	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	323	355		450	
実績値	229(26実績)				

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ①森林認証推進事業
(1)木製学童机・椅子の小学校へのモデル的導入事業
(2)天竜林材業振興協議会への負担金(FSC森林認証更新審査料)
②(仮称)FSCオリンピックフォーラム開催事業／東京オリンピック・パラリンピック関連施設でのFSC認証材使用の実現を目的にした「天竜材販路拡大ミーティング」の開催
③市有林管理事業／市有林を適切に管理・保全する。
・間伐及び下草刈:約3ha
④市有林を活用したCSR活動の推進／市有林の管理・保全と市民等の森林環境教育を目的に、以下の市有林を地域企業等のCSR活動に活用する。
・天竜区小堀谷(4.8ha):静岡県西部森づくりCSR協働推進協議会
・天竜区小堀谷(1.9ha):(株)NTTドコモ
・佐久間町佐久間(1.8ha):NPO法人がんばらまいか佐久間

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 改善 小項目 委託・指定管理 / 事業費 拡大 人工 現状

・持続可能な森林経営・管理のため、「市有林資源・搬出量調査事業」を新設し、市有林における木材供給可能量や搬出経費等を調査するとともに、(仮)木材生産計画を樹立していく。

・事業の分類

大分類 事業推進 細分類 保護・保全

補助シート (事業名) 森林管理事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
22	・森林認証推進事業	・森林認証推進事業 ・市有林管理事業 ・市有林資源・搬出量調査事業	・森林認証推進事業 ・市有林管理事業	・森林認証推進事業 ・市有林管理事業
〇〇				

事業シート (事業名) 治山事業

◇事業目的・事業対象

林業活動や市民の安心・安全な暮らしを守ることを目的に、林地や下流に被害が及ぶ恐れのある森林を保全する。

◇事業の概要

①県単独補助治山事業

県単独補助により、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を行う。

②市単独治山事業

国及び県の補助の対象にならない箇所について、市単独事業業として、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	39,146	35,800
	決算	33,865	
	国・県支出	18,984	19,600
	市債		
	その他		
	一般財源	14,881	16,200
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		9,800	11,900
人工	正規	1.4	1.7
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
治山工事年間実施箇所(箇所)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	5	5			
実績値	8				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
01 02 06 01 01728000

(担当課)
林業振興課

(責任者)
天野 幸夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

①県単独補助治山事業

県単独補助により、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を行う。

②市単独治山事業

国及び県の補助の対象にならない箇所について、市単独事業として、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

・計画に基づいた事業を執行し、山地災害を防止していく。

・事業の分類

大分類 事業推進

細分類 安心・安全

事業シート (事業名) 森林保護事業

◇事業目的・事業対象

森林や農林水産物を様々な病虫や鳥獣の被害から守ることを目的に、必要な対策事業を行う。

◇事業の概要

①松くい虫被害対策事業
三方原防風林や森林公園周辺など、松林における松くい虫被害の拡大を防止するため、伐倒駆除及び薬剤散布を行う。

②カモシカ被害対策事業
造林木などに被害を与えるカモシカ(特別天然記念物)の生息密度を適正にするため、カモシカの生息や被害状況の調査、捕獲による個体数調整を行う。

※ただし、正規0.8人工、再任用(h31)0.5人工は、農業振興課所属職員分

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法、鳥獣保護法、森林病虫害等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	42,782	15,304
	決算	41,897	
	国・県支出	291	432
	市債		
	その他		
	一般財源	41,606	14,872
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		19,300	16,160
人工	正規	2.5	2.0
	再任用(h31)	0.5	0.6
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
松くい虫被害木の被害率(三方原防風林・舞阪町民の森) ※被害本数/全本数(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	9	1			
実績値	0.65				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
01 02 06 01 01728000

(担当課)
林業振興課

(責任者)
天野 幸夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

①松くい虫被害対策事業

三方原防風林や森林公園周辺など、松林における松くい虫被害の拡大を防止するため、伐倒駆除及び薬剤散布を行う。

②カモシカ被害対策事業

造林木などに被害を与えるカモシカ(特別天然記念物)の生息密度を適正にするため、カモシカの生息や被害状況の調査、捕獲による個体数調整を行う。

※ただし、正規0.8人工、再任用(h31)0.5人工は、農業振興課所属職員分

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 現状 小項目 / 事業費 縮小 人工 縮小

- ・松くい虫被害木の早期発見早期撤去を徹底し、被害を沈静化する。
- ・森林被害を抑制するため、計画どおりに個体数調整を実施していく。

・事業の分類

大分類 事業推進

細分類 保護・保全

政策シート (政策名) 森林管理を通じた環境対応社会への貢献

(予算費目名) 森林・林業政策推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

FSC森林認証を活用し、市民に持続可能な森林経営・管理の大切さを啓発するとともに、FSC認証材を核とした新しいビジネスモデルを創出することで、産業として成り立つ持続可能な林業経営を達成する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	17,092	
決算	15,843	
人件費(A)	9,100	
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	24,943	

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
FSC森林認証面積	ha	48,000	目標	43,500	44,000
			実績	43,553	
FSC認証材生産量	m ³ /年	143,000	目標	71,000	79,000
			実績	68,911	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

FSC森林認証を活用し、市民に持続可能な森林経営・管理の大切さを啓発するとともに、FSC認証材を核とした新しいビジネスモデルを創出することで、産業として成り立つ持続可能な林業経営を達成する。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 進んでいる

各事業の実施や積極的なトップセールスなどにより、大手建設業者や設計業者に対する天竜材(FSC認証材)の認知度を向上することができた。
FSC認証面積は目標値を上回ることができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	森林産業の創出事業			○	○							
2	森林・林業政策運営経費(一般諸経費のみ)				○							
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計												

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 森林産業の創出事業 【完了】

◇事業目的・事業対象

FSC森林認証を活用し、市民に持続可能な森林経営・管理の大切さを啓発するとともに、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックでのFSC認証材使用の実現等、FSC認証材を核とした新しいビジネスモデルを創出することで、産業として成り立つ持続可能な林業経営を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.22】

- 1 森林認証推進事業
 - (1) 木製学童机・椅子の小学校へのモデル的導入事業
 - (2) FSC森林認証更新審査料に対する負担金
- 2 (仮称)FSCオリンピックフォーラム開催事業
2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックでのFSC認証材使用の実現等をめざすフォーラムの開催
- 3 FSC認証材販路開拓事業
ジャパンホームショー、エコプロダクツ展等への出展。
- 4 木質バイオマス利用促進助成事業
 - (1) 木質バイオマス利用促進事業費補助金
 - (2) 木質ペレット地域循環モデル創造事業費補助金
 - (3) 木質ペレットボイラー導入に向けた可能性・意向調査事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	一般会計	自治事務(その他)		—	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	13,912	
	決算	12,691	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	12,691	
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		7,700	
人工	正規	1.1	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
FSC森林認証面積(ha)				—	22
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	43,500		45,000		48,000
実績値	43,553				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
FSC認証材生産量(m ³ /年)					22
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	71,000		95,000		143,000
実績値	68,911				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年間間伐実施面積(ha)					22
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	2,000		2,000		2,000
実績値	(29年2月頃)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.22】

- 1 森林認証推進事業
 - (1)木製学童机・椅子の小学校へのモデル的導入事業
 - (2)FSC森林認証更新審査料に対する負担金
- 2 (仮称)FSCオリンピックフォーラム開催事業
2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックでのFSC認証材使用の実現等を目指すフォーラムの開催
- 3 FSC認証材販路開拓事業
ジャパンホームショー、エコプロダクツ展等への出展。
- 4 木質バイオマス利用促進助成事業
 - (1)木質バイオマス利用促進事業費補助金
 - (2)木質ペレット地域循環モデル創造事業費補助金
 - (3)木質ペレットボイラー導入に向けた可能性・意向調査事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

各事業の実施や市長の積極的なトップセールスなどにより、FSC認証面積の増加等はもとより、市民や市内の林業関係者だけでなく、大手建設業者や設計業者に対する天竜材(FSC認証材)の認知度が向上した。

- 1 森林認証推進事業
FSC製木製学童机・椅子を市内3小学校に129セット導入
- 2 (仮称)FSCオリンピックフォーラム開催事業
東京都内で大手建設、設計業者等30人を対象に「天竜材販路拡大ミーティング」を開催(9月7日:都市センターホテル)
- 3 FSC認証材販路開拓事業
ジャパンホームショー2015(11月18日～20日:東京ビッグサイト)に浜松市ブースを出展し、約750人が来場
- 4 木質バイオマス利用促進助成事業
木質ペレットストーブ導入(10基)への助成を実施するとともに、木質ペレットボイラー導入に向けた可能性・意向調査として、市内のボイラー所有者約300人へアンケートを実施

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・「(仮称)FSCオリンピックフォーラム開催事業」は、「天竜材販路拡大ミーティング」の開催により、大手建設業者や設計業者等に対して天竜材(FSC認証材)の認知等が向上した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 細分類

平成28年度

(管理番号)
01 02 06 01 01728000 01(担当課)
林業振興課(責任者)
天野 幸夫(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日**補助シート**

(事業名) 森林産業の創出事業

【完了】

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
22	1 森林認証推進事業の実施 2 (仮称)FSCオリンピックフォーラムの開催 3 FSC認証材販路開拓事業の実施 4 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付	1 森林認証推進事業の実施 2 FSC認証材販路開拓事業の実施 3 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付	1 森林認証推進事業の実施 2 FSC認証材販路開拓事業の実施 3 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付	1 森林認証推進事業の実施 2 FSC認証材販路開拓事業の実施 3 浜松市木質バイオマス利用促進事業費補助金の交付

事業シート (事業名) 森林・林業政策運営経費(一般諸経費のみ) 【完了】

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	3,180	
	決算	3,152	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	3,152	
	一般会計繰入金		
	人件費(報酬等) (千円)		
	人件費 (千円)	1,400	
人工	正規	0.2	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
01 02 06 01 01728000

(担当課)
林業振興課

(責任者)
天野 幸夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類

政策シート

(政策名) 森林管理を通じた環境対応社会への貢献
(予算費目名) 森林整備費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

森林の有する多面的機能の持続的発揮に向け、森林の整備・保護や計画的な森林経営、市民啓発などを推進する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	254,210	
決算	240,745	
人件費(A)	69,000	
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	309,745	

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
森林経営計画 累計認定面積	ha	40,000	目標	13,600	
			実績	13,768	
林業行政を総合的に推進する組織の設置		設置(H30)	目標	設置に向けた検討	
			実績	設置(27年7月)	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

森林の有する多面的機能の持続的発揮に向け、森林の整備・保護や計画的な森林経営、市民啓発などを推進する。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

森林経営計画の作成に対する支援を行うことで、森林経営計画の累計面積は目標を達成することができた。
林業行政を総合的に推進する組織の設置については、平成27年7月に林業振興課を設置した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	森林・林業啓発事業											
2	森林・林業施設運営事業				○							
3	森林管理事業											
4	計画的な森林経営推進事業		○	○	○							
5	森林整備事業		○	○	○							
6	治山事業											
7	森林保護事業											
8	森林整備運営経費(一般諸経費のみ)											
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計												

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 森林・林業啓発事業

◇事業目的・事業対象

市民の森林・林業に対する理解増進を目的に、市民と森林との交流事業や啓発事業を行う。

◇事業の概要

①森林・林業交流事業

森林・林業に対する市民理解を増進するため、市民を対象にした啓発講座などを行う。

- ・森林環境教育推進事業(森林散策会等)
- ・林業専門高校連携事業(森林啓発講座開催等)
- ・"天竜美林"間伐リレープロジェクト推進事業(間伐材配合製品の普及)

②森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)

市民と森林のふれあいなどを目的とした施設運営や流域内の林業活性化を図るための経費を負担する(県立森林公園、奥浜名湖自然休養林、天竜流域活性化センター、静岡県山林協会 など)。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	9,475	
	決算	9,414	
	国・県支出		
	市債		
	その他	540	
	一般財源	8,874	
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		2,100	
人工	正規	0.3	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
森林・林業体験活動への年間参加者数(人)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	2,300				2,300
実績値	3,023				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ①森林・林業交流事業
 森林・林業に対する市民理解を増進するため、市民を対象にした啓発講座などを行う。
 ・森林環境教育推進事業(森林散策会等)
 ・林業専門高校連携事業(森林啓発講座開催等)
 ・"天竜美林"間伐リレープロジェクト推進事業(間伐材配合製品の普及)
- ②森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)
 市民と森林のふれあいなどを目的とした施設運営や流域内の林業活性化を図るための経費を負担する(県立森林公園、奥浜名湖自然体験林、天竜流域活性化センター、静岡県山林協会 など)。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ①森林・林業交流事業
 次の講座等に多くの方が参加し、森林・林業に対する市民の理解が進んだ。
 ・森林散策会:419人【2月までの実績】(12回:毎月開催)
 ・出前講座:422人(4回開催)
 ・天竜高校が開催する森林啓発講座(木工講座、地元小学校連携、森林療法啓発):428人(9回開催)
 ・間伐材配合製品の購入:30団体
- ②森林啓発・林業振興強化支援事業(負担金)
 各施設の運営等に対する助成を行い、参加者の森林・林業に対する市民の理解が進んだ。
 ・県立森林公園(自然体験プログラム):1,913人
 ・天竜流域林業活性化センター:238人

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・「浜松市公共部門における地域材利用促進に関する基本方針」に基づくFSC製品の使用推進に伴い、FSC製封筒や名刺台紙の使用を始めたため、間伐材配合製品を推進する"天竜美林"間伐リレープロジェクト推進事業を廃止することにした。
 ・県立森林公園運営協議会による活動内容の協議の結果、県立森林公園の負担金を減額することとした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 森林・林業施設運営事業 【完了】

◇事業目的・事業対象

①市民における森林での余暇活動の促進、②都市と山村との交流の促進、③林業従事者等の健康増進などを目的に、森林・林業施設の管理・運営を行う。

◇事業の概要

①森林体験・交流施設維持管理事業
 林業関係者の福利厚生及び中山間地域の交流人口の増加を目的に以下の施設を維持管理する。
 ・天竜林業体育館
 ②森林ふれあい施設維持管理事業
 市民と森林とのふれあいや市民交流の促進を目的に、以下の9森林交流施設を維持管理する。
 ・舞阪町民の森
 ・三方原防風林、観音山水源の森
 ・湖畔の森、光明山生活環境保全林、上野ふれあいの森、熊平滞在施設、市民の森、野鳥の森(トイレ)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	17,198	
	決算	16,775	
	国・県支出		
	市債		
	その他	67	
	一般財源	16,708	
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		5,600	
人工	正規	0.8	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
森林体験・交流施設(天竜林業体育館)年間利用人数(人)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	2,550				3,000
実績値	2,099				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
01 02 06 02 01728000

(担当課)
林業振興課

(責任者)
天野 幸夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

①森林体験・交流施設維持管理事業

林業関係者の福利厚生及び中山間地域の交流人口の増加を目的に以下の施設を維持管理する。

・天竜林業体育館

②森林ふれあい施設維持管理事業

市民と森林とのふれあいや市民交流の促進を目的に、以下の9森林交流施設を維持管理する。

・舞阪町民の森

・三方原防風林、観音山水源の森

・湖畔の森、光明山生活環境保全林、上野ふれあいの森、熊平滞在施設、市民の森、野鳥の森(トイレ)

・事業の成果と課題

指標の達成度

①森林体験・交流施設維持管理事業

天竜林業体育館年間利用人数:2,099人

②森林ふれあい施設維持管理事業

所管する9森林交流施設を適切に維持管理し、市民と森林とのふれあいや市民交流を図った。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・天竜林業体育館について、単独で指定管理施設として管理してきた体制を見直し、天竜林業体育館と周辺の3施設と一体的に管理・運営することとした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 森林管理事業

◇事業目的・事業対象

市有林の適切な管理・保全を目的に、市有林の間伐等や森林を活用した地域企業等のCSR活動を推進する。

◇事業の概要

①市有林管理事業

市有林を適切に管理・保全する。

・間伐及び下草刈:約3ha

②市有林を活用したCSR活動の推進

市有林の管理・保全と市民等の森林環境教育を目的に、以下の市有林を地域企業等のCSR活動に活用する。

・天竜区小堀谷(4.8ha):静岡県西部森づくりCSR協働推進協議会

(構成企業:(株)アイジーコンサルティング 遠鉄システムサービス(株) 不二総合コンサルタント(株)
(株)丸山コーポレーション (株)リサイクルクリーン)

・天竜区小堀谷(1.9ha):(株)NTTドコモ

・佐久間町佐久間(1.8ha):NPO法人がんばらまいか佐久間

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	995	
	決算	864	
	国・県支出		
	市債		
	その他	864	
	一般財源		
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		4,200	
人工	正規	0.6	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年間間伐実施面積(ha)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	2,000				2,000
実績値	(28年11月頃)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ①市有林管理事業
市有林を適切に管理・保全する。
・間伐及び下草刈:約3ha
- ②市有林を活用したCSR活動の推進
市有林の管理・保全と市民等の森林環境教育を目的に、以下の市有林を地域企業等のCSR活動に活用する。
・天竜区小堀谷(4.8ha):静岡県西部森づくりCSR協働推進協議会
(構成企業:(株)アイジーコンサルティング 遠鉄システムサービス(株) 不二総合コンサルタント(株)
(株)丸山コーポレーション (株)リサイクルクリーン)
・天竜区小堀谷(1.9ha):(株)NTTドコモ
・佐久間町佐久間(1.8ha):NPO法人がんばらまいか佐久間

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ①市有林管理事業
・峰市有林(佐久間町佐久間)の間伐:2.53ha
- ②市有林を活用したCSR活動の推進
活動実績
・(株)NTTドコモ/1回(60人)
・NPO法人がんばらまいか佐久間/1回(4人:40本間伐)

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・森林環境基金を活用した間伐やCSR活動等での市有林管理を進めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 計画的な森林経営推進事業 **【完了】**

◇事業目的・事業対象

森林所有者の計画的かつ持続的な森林を経営を目的に、森林所有者が行う森林経営計画の作成や施業集約化の取組みを支援する。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

①森林整備地域活動支援事業

森林所有者が行う森林整備地域活動(森林経営計画作成促進、施業集約化の促進、作業路網の改良活動など)を支援する。

【支援内容】

- ・森林経営計画の作成促進
 森林経営計画を作成する育成林面積×8,000円/ha
 森林経営計画期間内に間伐を実施する森林面積×38,000円/ha
- ・施業集約化の促進
 森林経営計画作成森林及び集約化実施計画が作成されている森林×30,000円/ha

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	25,303	
	決算	25,302	
	国・県支出	18,876	
	市債		
	その他		
	一般財源 一般会計繰入金	6,426	
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		14,000	
人工	正規	2.0	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
森林経営計画 累計認定面積(ha)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	13,600				40,000
実績値	13,768				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
林業行政を総合的に推進する組織の設置					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	設置検討		設置		-
実績値	設置(27年7月)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

①森林整備地域活動支援事業

森林所有者が行う森林整備地域活動(森林経営計画作成促進、施業集約化の促進、作業路網の改良活動など)を支援する。

【支援内容】

・森林経営計画の作成促進

森林経営計画を作成する育成林面積×8,000円/ha

森林経営計画期間内に間伐を実施する森林面積×38,000円/ha

・施業集約化の促進

森林経営計画作成森林及び集約化実施計画が作成されている森林×30,000円/ha

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

①森林整備地域活動支援事業

・森林経営計画作成促進:1,794ha

・施業集約化の促進:230ha

・作業路網の改良活動:71ha

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 縮小 人工 縮小

・国・県補助金を活用し、市内の森林における森林経営計画の作成や施業の集約化を推進した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 事業推進

細分類 計画(策定・進行管理)

補助シート (事業名) 計画的な森林経営推進事業

【完了】

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
23	組織設置の検討 森林経営計画の作成及び施業集約化の促進 (森林整備地域活動支援事業)	組織設置の検討 森林経営計画の作成及び施業集約化の促進 (森林整備地域活動支援事業)	組織設置の検討 森林経営計画の作成及び施業集約化の促進 (森林整備地域活動支援事業)	組織の設置 森林経営計画の作成及び施業集約化の促進 (森林整備地域活動支援事業)
〇〇				

事業シート (事業名) 森林整備事業

【完了】

◇事業目的・事業対象

民有林における持続可能な森林経営・管理を目的に、FSC森林認証の取得面積を拡大するとともに、認証森林地域を中心とした森林施業を支援する。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

①利用間伐促進助成事業(補助金)

森林組合や森林所有者が行う森林整備事業(造林、保育、間伐、搬出等)を支援する。

【支援内容】

- ・森林環境保全直接支援事業
対象事業:除間伐、枝打ち、下刈り、造林
補助率:一般森林1/3、FSC認証森林2/3
- ・美しい森林づくり基盤整備交付金事業
対象事業:間伐
補助率:一般森林1/3、FSC認証森林2/3

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	113,864	
	決算	105,384	
	国・県支出	9,017	
	市債		
	その他		
	一般財源 一般会計繰入金	96,367	
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		12,600	
人工	正規	1.8	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年間間伐実施面積(ha)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	2,000				2,000
実績値	(28年11月頃)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
林業行政を総合的に推進する組織の設置					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	設置検討		設置		-
実績値	設置(27年7月)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.23】

①利用間伐促進助成事業(補助金)

森林組合や森林所有者が行う森林整備事業(造林、保育、間伐、搬出等)を支援する。

【支援内容】

・森林環境保全直接支援事業

対象事業: 除間伐、枝打ち、下刈り、造林

補助率: 一般森林1/3、FSC認証森林2/3

・美しい森林づくり基盤整備交付金事業

対象事業: 間伐

補助率: 一般森林1/3、FSC認証森林2/3

・事業の成果と課題

指標の達成度

①利用間伐促進助成事業(補助金)

・森林環境保全直接支援事業

○除間伐: 585.86ha

○保育間伐・更新伐: 15.47ha

○枝打ち: 8.71ha

○下刈り: 35.43ha

○造林: 12.56ha

・美しい森林づくり基盤整備交付金事業

○間伐: 135.40ha

・森林整備加速化・林業再生事業

○間伐: 349.67ha

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目

小項目

/

事業費

人工

現状

・持続可能な森林経営・管理のため、国補助事業(森林環境保全直接支援事業、美しい森林づくり基盤整備交付金事業、森林整備加速化・林業再生事業)を活用し、民有林における森林整備を推進した。

今後の方向性

大項目

小項目

/

事業費

人工

・事業の分類

大分類

補助・助成

細分類

補助・助成(民間事業)

補助シート (事業名) 森林整備事業

【完了】

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
23	組織設置の検討 利用間伐の促進(利用 間伐促進助成事業)	組織設置の検討 利用間伐の促進(利用 間伐促進助成事業)	組織設置の検討 利用間伐の促進(利用 間伐促進助成事業)	組織の設置 利用間伐の促進(利用 間伐促進助成事業)
〇〇				

事業シート (事業名) 治山事業

◇事業目的・事業対象

林業活動や市民の安心・安全な暮らしを守ることを目的に、林地や下流に被害が及ぶ恐れのある森林を保全する。

◇事業の概要

①県単独補助治山事業

県単独補助により、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を行う。

②市単独治山事業

国及び県の補助の対象にならない箇所について、市単独事業として、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	34,950	
	決算	33,865	
	国・県支出	18,984	
	市債		
	その他		
	一般財源	14,881	
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		9,800	
人工	正規	1.4	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
治山工事年間実施箇所(箇所)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	5		5		5
実績値	8				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

①県単独補助治山事業 [決算28,476千円(うち前年度繰越4,196千円)]
県単独補助により、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を行う。
②市単独治山事業
国及び県の補助の対象にならない箇所について、市単独事業業として、山地崩壊地の復旧や荒廃の恐れのある林地の予防及び治山施設の補修を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

①県単独補助治山事業
過疎地域(春野・佐久間・水窪・龍山)における治山事業4箇所(1箇所繰越)を行った。
②市単独治山事業
県単補助基準に満たない小規模な治山事業5箇所を行った。

・事業の改善と見直し

実施結果
大項目 小項目 / 事業費 人工
計画通り事業を執行し、山地崩壊地の復旧や山地災害を未然に防ぐことが出来た。
今後の方向性
大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 森林保護事業

◇事業目的・事業対象

森林や農林水産物を様々な病虫や鳥獣の被害から守ることを目的に、必要な対策事業を行う。

◇事業の概要

①松くい虫被害対策事業
 三方原防風林や森林公園周辺など、松林における松くい虫被害の拡大を防止するため、伐倒駆除及び薬剤散布を行う。

②カモシカ被害対策事業
 造林木などに被害を与えるカモシカ(特別天然記念物)の生息密度を適正にするため、カモシカの生息や被害状況の調査、捕獲による個体数調整を行う。

※ただし、正規0.8人工、再任用(h31)0.5人工は、農業振興課所属職員分

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
平成18年度	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法、鳥獣保護法、森林病虫害等	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	42,782	
	決算	41,897	
	国・県支出	291	
	市債		
	その他		
	一般財源	41,606	
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		19,300	
人工	正規	2.5	
	再任用(h31)	0.5	
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
松くい虫被害木の被害率(三方原防風林・舞阪町民の森) ※被害本数/全本数(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	9		6		0
実績値	0.65				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

①松くい虫被害対策事業
三方原防風林や森林公園周辺など、松林における松くい虫被害の拡大を防止するため、伐倒駆除及び薬剤散布を行う。

②カモシカ被害対策事業
造林木などに被害を与えるカモシカ(特別天然記念物)の生息密度を適正にするため、カモシカの生息や被害状況の調査、捕獲による個体数調整を行う。

※ただし、正規0.8人工、再任用(h31)0.5人工は、農業振興課所属職員分

・事業の成果と課題

指標の達成度

①松くい虫被害対策事業
三方原防風林については、被害木の全木伐倒を行った(全数1,687本 被害木0本)
舞阪町民の森については、予算の範囲内で伐倒駆除を行った(全数2,950本 被害木30本)

②カモシカ被害対策事業
カモシカ生息密度調査、被害実態調査を行ったことで、71頭の個体数調整を行った。

・事業の改善と見直し

実施結果
大項目 小項目 / 事業費 人工

・松くい虫被害木の伐倒駆除を徹底したことで、今後の松くい虫被害の拡大を最小限に抑えることが出来たほか、強風時における倒木による通行者等への被害の防止が図られた。

今後の方向性
大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 森林整備運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	9,643	
	決算	7,244	
	国・県支出		
	市債		
	その他	1,219	
	一般財源	6,025	
	一般会計繰入金		
	人件費(報酬等) (千円)		
	人件費 (千円)	1,400	
人工	正規	0.2	
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
	H27	H28	H30	H31	H36
年度					
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
	H27	H28	H30	H31	H36
年度					
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
	H27	H28	H30	H31	H36
年度					
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
	H27	H28	H30	H31	H36
年度					
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
01 02 06 02 01728000

(担当課)
林業振興課

(責任者)
天野 幸夫

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類